

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	宮津小学校校舎改築工事	階数	地上3F
建設地	京都府宮津市宇外側2508番地	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	500 人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,000 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年1月 竣工	評価の実施日	2016年12月6日
敷地面積	28,054 m <sup>2</sup>	作成者	柴田 昌孝
建築面積	2,002 m <sup>2</sup>	確認日	2016年12月5日
延床面積	4,408 m <sup>2</sup>	確認者	京都確認検査機構

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)								
<p><b>BEE = 0.7</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>135%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>135%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>135%</td> </tr> </table> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	①参照値	100%	②建築物の取組み	135%	③上記+②以外の	135%	④上記+	135%	
①参照値	100%									
②建築物の取組み	135%									
③上記+②以外の	135%									
④上記+	135%									

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<b>Q のスコア = 2.8</b>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア= 3.0</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア= 3.0</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア= 2.5</p>
<b>LR のスコア = 2.3</b>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア= 1.8</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア= 3.0</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア= 2.3</p>

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される